

時事新報

明治十八年三月廿一日 (西曆一千八百八十五年) 第九百三十號

公報

○太政官布達第四號 北海道産物出港稅額改派出所今般更ニ左ノ二箇所ヲ増設ス

○海軍省達第十七號 來ル三十一日爲城艦進水式施行ノ儀風波若クハ雨天ナレハ臨時延引更ニ期日可相違旨達置候處同日ハ風雨ニ不拘施行候條此旨爲心得更ニ相達候事

紋任

○明治十八年三月廿八日 太政官補少書記官兼文 高橋 健三 任奉事院關官補兼太政官補少書記官

時事新報 朝鮮變亂ノ禍源

國アレバ人アリ人アレバ其國ノ獨立ヲ欲セザルモノナシ人類ノ習慣各國開闢ノ初ヨリ殆ト人ノ性ヲ成シテ復ク變ズ可ク左レバ國民獨立ノ精神ハ必ズ之ヲ教ルニ及バズ其自自然然放順シテ自然ニ勵シ可キニ似タレ其國ノ事情ニ由リ或ハ一人若シクハ數人ノ利害ノヲメニ全國獨立ノ大義ヲ餘處ニスルモノナキニ非ズ歟ヤ...

位ヲ守ルノ一念ハ何程ニ深切ナル可キヤト尋スレバ身外ノ萬物之ニ具フ可キモノナシト答ヘテ可クソレハ人ノ性ニ具ヘタル獨立ノ大義ヲモ離レシメテ國權ヲ辱カシメタル、モ之ヲ忍ビ、獨立國ノ榮名ヲ汚カスモ之ニ堪ニ、堪忍ニ堪忍シテ一日ノ愛事ヲ深ク國家結息ノ安寧ト共ニ自家僥倖ノ安寧榮華ヲ與ニセント欲シテ...

レニ從フ、朝鮮國政治社會ノ僥倖ハ獨リ國家ノ一族ニ集リテ他ノ顯官ト稱スル者モ唯閔族ノ驥尾ニ就テ勢力ヲ保ツノミ新事ノ形勢ナレバ閔氏ノタメニ謀ルニ國家一日ノ安寧ヨリ貴重ナルモノアル可ク内治外交ニ論ナリ聊カコトモ政事ニ變動アレバ其勳力ハ必ズ多少ニ閔氏ニ波及セザルを得ズ而シテ氏ノ一類ノ人物如何ト問ヘバ才ナク又無才無能ノ人ガ政府重要ノ地位ニ居テ政治ノ波動ニ逢フ、即チ其人ノ僥倖ヲ動搖セシムルモノナレバ其感覺ノ顯微ナル固ヨリ怪シムコト足ラザルナリ...

○官廳彙報 去ル廿八日參事院議官補兼太政官補少書記官に任せられたる高橋健三氏は同日七等官相當月俸百圓下賜の旨仰渡され文書局勤務仰付けられ、内務省准委任御用掛中村精男氏は去る廿八日農商務省に於て同省准委任御用掛兼商務局勤務仰付けられ、一箇年手當として金百圓給與する旨仰渡されたり

○海軍省免補 海軍大尉本田有智外六名は去る廿七日左の通り仰付けられたり